

リスクコミュニケーション「身近な食品のリスク」 ～今日から知って、考えて、行動しよう～を開催しました（報告）

令和2年12月
農政課



令和2年12月21日（月）に京都府立大学生命環境学部食保健学科の学生等を対象にカフェインについてのリスクコミュニケーションを学生の自宅等と食品安全委員会と京都府庁を結んでオンラインで開催したところ、概要は以下のとおりでしたので報告いたします。

- 1 日時 令和2年12月21日（月）12時50分から14時20分まで
- 2 主催 京都府
- 3 共催 内閣府食品安全委員会
- 4 参加者 26名（管理栄養士を目指す学生）：自宅等から参加

5 内容

（1）情報提供

「カフェインと上手につきあうために」

内閣府食品安全委員会事務局 秋元 京子 氏（東京都の庁舎から参加）

（2）お知らせ

「きょうと食の安心・安全ヤングサポーターについて」

京都府農林水産部農政課 熊谷副主査（京都府庁から参加）

（3）グループワーク

「同世代への情報発信」～カフェインの摂取について啓発文を作ってみよう～

【グループワークで、実際に学生が考えた啓発文】

エナジードリンク、飲み過ぎていませんか？エナジードリンク1本には、約コーヒー2杯分のカフェインが含まれているものも…カフェインは、アルコールと同時摂取すると急激な酔いが起こり危険です！皆さん、くれぐれもお酒とエナジードリンクを一緒に飲まないようご注意ください！！

※ オンラインでのグループワークの実施は当係では初であったが、学生らはアプリケーションに習熟しており、短時間であっても意見交換しながらグループワークができた。

6 参加者アンケート結果（回答率 88.46%）

【参加者の満足度】

参加して「大変満足」と回答した割合 21.73%、「満足」と回答した割合 78.26%

【食の安心・安全への理解促進度】

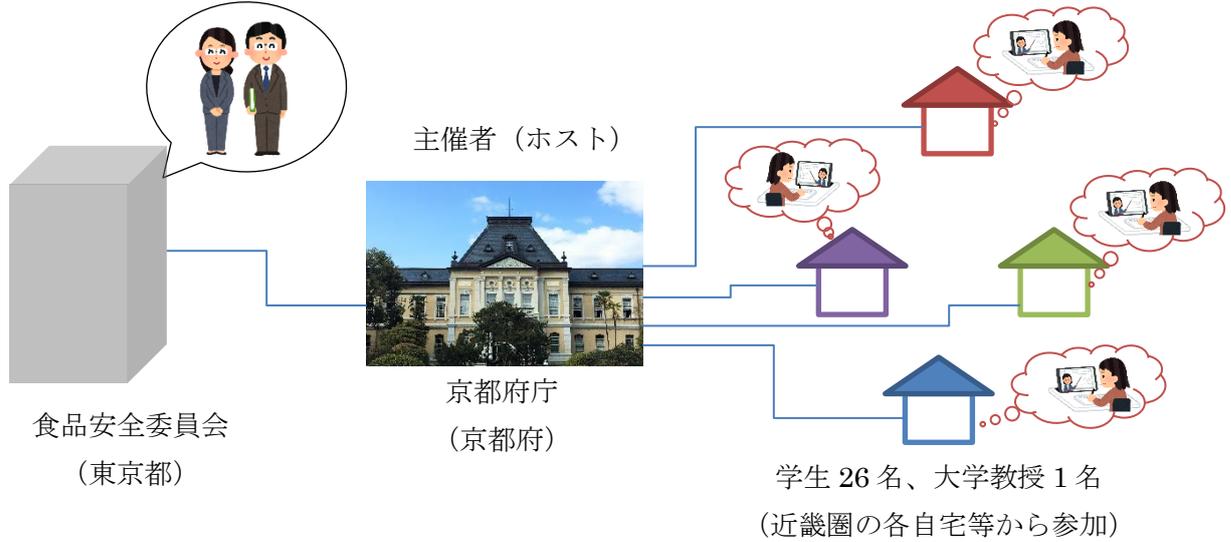
「理解がとても進んだ」と回答した割合 30.43%、「理解が進んだ」と回答した割合 69.57%

【参加者の感想】

- ◆ 学科の授業で食品の成分について学習することはあったが、一日の摂取基準やそれぞれの食品あたりにどのくらい含まれているのかなどの知識があまり定着していなかったため、今回のリスクコミュニケーションをとおしてすごく印象に残ったし、日常生活の中でも意識して行動していこうと思った
- ◆ テスト前などカフェインに頼ることが多いのでとても身近な話題でよかった

7 当日の開催イメージ

【情報提供、お知らせ時】



【グループワーク時 (ブレイクアウトセッション)】

